

平成30年度第12回士別市教育委員会会議録

1. 開 会 平成31年 3月18日(月) 午後 4時26分
2. 閉 会 平成31年 3月18日(月) 午後 5時40分
3. 会 場 教育委員会 教育長室
4. 出席者 教育長 中 峰 寿 彰 生涯学習部長 鴻 野 弘 志
代理 五十嵐 紀 子 生涯学習部次長 漢 幸 雄
委員 千 田 秀 昭 合宿の里推進室統括監 濱 田 納 陸
委員 馬 場 千 晶 学校教育課長 須 藤 友 章
委員 加 藤 洋 之 学校教育課参事 大 留 義 幸
中央公民館長 千 葉 真 奈 美
学校教育課参事 藤 田 泰 昭
図書館長 岡 田 英 俊
社会教育課長 武 山 鉄 也

5. 議 件 (発言者、議事要旨及び議決事項)

○中峰教育長あいさつ

本日は北海道の教育推進会議に出席して来た。ICT教育について教育大附属函館中学校の取り組みが紹介されていた。多機能パソコンを保護者が4~5万円ほど負担して整備したとのこと。導入による弊害も考えられるが、一方で、家庭でツールとして活用できるメリットもある。また、教育委員会の点検・評価の方法を変更するとの話があった。定量的評価と定性的評価の両面で見直すことになる。本市教育委員会としての評価も検討したいと考えている。今年度の教育委員会会議は最後となるが、よろしくお願ひします。

1 議事について

○中峰教育長 進行

議案第42号 士別市教育委員会職員の人事異動については秘密会とする。

午後4時28分、秘密会を宣する。(資料に基づき 説明)

午後4時41分、秘密会を解く。

○中峰教育長

議案第43号 学校運営協議会の設置について説明を求める。

○藤田参事

次年度から市街地4校に協議会を設置すべく準備をすすめてきた。4月1日付けで設置するもの。(別紙資料に基づき内容説明)

○中峰教育長

協議会の規則に変更点はない。4月3日の辞令交付式終了後に通知を渡す予定。現状で協議会に移行する準備は進んでいる。コーディネーターも積極的に活動しており、通信なども作成している。学校の管理職も研修等に参加しており、具体的なイメージをつかみつつある状況。

※ 議案第43号 了承

○中峰教育長

議案第44号 士別市教育委員会所管事務各種審議会等委員の選任について説明を求める。

○鴻野部長

4月1日から任期を迎える各種審議会委員のうち、新たに選任される方を中心に説明する。

○武山課長

氏名欄等に記載がないものは、現段階では決定しておらず、これから選任されるということ。

○千葉館長

公民館関係では、参考として公民館館長・嘱託主事等の名簿も添付している。

○岡田館長

学校教育関係者枠の委員は、校長会または教頭会から選出していただくよう依頼している。

○三上室長

スポーツ関係の委員のうち、現在決定しているのは、いずれも再任される方である。

○中峰教育長

青少年問題協議会については、今後のあり方を含め検討が必要。公募委員は25日に選定される予定。

○千葉館長

全庁的には公募委員の申し込みがなく、委員が決められない状況もあるようだ。

○中峰教育長

委員の世代交代も課題である。

○五十嵐代理

審議会によっては委員の平均年齢が高い場合がある。新任の委員が必ずしも若いわけではない。

○武山課長

まちづくり塾の卒塾生などに応募してもらうよう働きかけたい。

○千田委員

登和里地区では4月に入ってから分館長などを選出している。

○中峰教育長

行政の役職であるため、望ましいのは4月1日には決まっている状況。

○漢次長

地域では、自治会や農集などの会議が重複して開催されている。うまく役員を回しているところもあるが、厳しいところも出てくる。

○中峰教育長

地域において脈々と受け継がれてきたものであるが、統合などを選択せざるを得ない場合もある。地域の実情に応じ、ソフトランディングを図ることも必要である。各種委員は最終的に決定したのち、改めて名簿をお渡しする予定。

※ 議案第44号 了承

○中峰教育長

議案第45号 士別市立小中学校通学区域規則の一部を改正する規則について説明を求める。

○須藤課長

いよいよ西小学校の閉校が近づいて来たため、規則から名称を削除するもの。

○中峰教育長

閉校に関する整理ということ。

※ 議案第45号 了承

○中峰教育長

議案第46号 平成31年4月実施の行政組織機構改革に伴う規則・訓令の改正について説明を求める。

○須藤課長

機構改革に伴い、規則が9件、要綱2件、規程1件を改正するもの。具体的には、「スポーツ課」の名称が「合宿の里・スポーツ推進課」に変更となるなど、組織の名称や役職の改称に伴い改正を行う。

○中峰教育長

「市民部」は「市民自治部」に、「保健福祉部」は「健康福祉部」となる。教育委員会も「生涯学習部」が追加される。

○加藤委員

一般の人からすると、統括監や管理監などは馴染みのない役職。

○中峰教育長

たとえば、本市では「主査」という役職は係長相当だが、民間企業では部長の次あたりの役職である場合もある。少しイメージしにくいかもしれない。

※ 議案第46号 了承

2 その他について

(1) 入学式の日程について

(2) 当面する今後の日程について

鴻野部長説明

○中峰教育長

「教育推進会議」の名称について、「学校教育推進会議」と表した方が、どのような会議なのかが分かりやすいのでは。

○漢次長

会議の内容についても検討しては、各担当からの説明は時間が限られており、校長や教頭は一方的に話を聞かされている。

○中峰教育長

管内教育局の会議でも同様のやり方。何かに特化した内容を説明することも一つのやり方かもしれない。

○五十嵐代理

本市に初めて赴任した先生から驚かれることがある。無駄ではないが、やり方はどうかと思う。

○中峰教育長

資料に記載していることは説明を省くなど改善できれば良い。

○五十嵐代理

上士別小の取り組みがCSの一環として新聞に掲載された。メディアに取り上げられたことで、他の地区から反応があり、お互いに良い刺激になっている。

○加藤委員

4月から設置される協議会でも意識してもらいたいと感じる。

○中峰教育長

多寄地区で開催した「夢トーク」に協議会の委員が参加するなど、とても意識が高い。報道をうまく使って情報発信してもらいたい。先行している4地区で合同の研修会を開催したが、熱心に情報交換が行われていた。以上で本年度の教育委員会会議を終了するが、次年度もよろしく願います。

午後5時40分 会議の終了を宣した。

この会議は、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

署名者 中峰 寿彰

会議録調整者 須藤 友章